

ぞうしがやフレーザーパーク通信 2021.8.22

◇日時：2021年8月22（日）午前10時30分～午後3時

◇天気：曇り時々晴れ

◇場所：豊島区立雑司が谷公園（芝生広場）

◇参加：80人程度

◇スタッフ：林、井上、浜野、水越、佐分、（午前のみ）清永、

◇お手伝い：東京下町紙芝居 2名、コマ遊び 坂田、

◇来訪者：（豊島区社会福祉協議会）松里さん、（北ブレイパーク）山本さん

◇企画：

「水遊び」：ペットボトル水鉄砲、スプリンクラー、ウォータースライダー

◇簡単報告：

◆暑さ対策、及び、密を避けるために、芝生用スプリンクラー、ペットボトル水鉄砲、ブルーシートを使ったウォータースライダーを中心とした活動とした。また、公園南側入り口近くの木陰の多い場所を活動場所の中心とした。ペットボトル水鉄砲づくり、糸掛け曼荼羅、コマ遊び、紙芝居も実施した。

◆ウォータースライダーでは、当初は薄く小さめのシートのせいか、滑りが悪かったが、シートを敷く場所（噴水脇の築山）や、シートの種類を工夫し、少し滑れる場所が設定できた。子どもたちは滑る姿勢に工夫を凝らして楽しんでいた。スライダーに挑戦するお父さんの姿もあった。大きいシート（3x5mの半透明シート）は、並んで滑ることもでき、継ぎ目もないので、複数のシートを敷くよりも安全に遊べると感じた。はしゃぎすぎてシートの上で走って、転ぶ子どももいたが、芝生の上のため大事には至らなかった。舗装部分で転ばないような工夫と、事故のないような見守りが必要。使用后、濡れた大型のシートの乾燥・収納が課題だったが、2時前からシートをフェンスにつるして干したところ、天気も良かったせいか、4時頃には9割方以上乾き、倉庫に収納することができた。

◆水鉄砲は、希望者は釘で穴をあけて自作できるようにした。午後は、金魚すくいのポイを鉢巻きにして、最後まで破れなかった人が勝ちというゲームをして盛り上がった。紙の替えもあったので、破れてしまったポイを子どもたち自身で張り替えて、2回戦も楽しんだ。張り替えることも遊びの一部。ポイをつかって、ペットボトルキャップすくいをやる姿も見られた。

◆水鉄砲用に用意していたタライに足をつけたり、入って行水したりする幼児が見受けられた。主催者としては、感染症蔓延防止の観点から、ため水には入らない遊びをしたかった。しかし、乳幼児への徹底は難しいため、人が浸かった水は捨て、こまめに水を入れ替えるようにした。

◆糸掛け曼荼羅では、爽り始めた緑の若いどんぐりを作品に組み合わせたり、糸掛け作品にペンで描き加えたりして楽しむ姿も見られた。

◆公園がアゲハチョウの通り道になっているのか、アゲハチョウ、アオスジアゲハ、シオカラトンボ等がたくさん見られ、タモで捕まえる姿が見られた。採取したチョウやトンボは、網に入れ観察し、最後には自然に逃がした。

◆今回は、気候（日陰のなさ）、感染症対策の観点から、工作の資材をほとんど出さなかったが、一定人数、工作をしたい希望があった。

◇その他：

◆4月5月の開催中止分の予備日程を、当初、秋に設定する予定だった。しかし、感染症蔓延の先行きが不透明なため、秋は定期開催日のみの実施とし、年明け以降予備日程を検討することにした。

◆次回、映画「遊びのレンズ」とのタイアップの企画は、感染症蔓延の状況によっては中止となることも考え、準備がそれほど大変ではない、段ボール工作をすることとした。但し、感染症蔓延の状況によっては、予定を柔軟に変更することとした。

◇次回（9月26日）に向けて：

◆行事保険申し込み（9月分）、段ボール収集、塩分補給タブレット